

平成 20 年度 環境教育関連事業実施結果

1 環境教育関連施策・事業一覧の作成

環境教育関連施策の進行状況や今後の方向性を示すとともに、札幌市の各部局で行われている環境教育に係る事業について取りまとめた冊子を作成しました（資料 1 - 1）。

2 環境教育プログラム・総合的環境副教材の周知・活用策の検討

環境教育プログラム・総合的環境副教材の活用状況や内容などについて、学校を対象にアンケート調査を実施しました。

また、環境教育プログラムを活用した授業研究を実施しました。

（アンケート結果：資料 1 - 2、授業研究実施結果：資料 1 - 3）

3 校外学習用バス貸出

体験学習の場を提供することを目的に、小学校を対象に環境教育に関する校外学習用バスの貸出事業を行いました。なお、今年度は 51 校（54 件）で実施しました。

4 環境教育へのクリック募金

環境教育教材を市内の学校に提供するため、環境プラザのホームページにクリック募金サイトを設けています。今年度のクリック数の結果をもとに、来年度は 192 万円の寄付を受ける予定です。

5 環境プラザにおける総合学習支援

環境教育リーダーの派遣や、環境プラザの展示物を活用した「プラザツアー」を企画し、小・中学校の総合学習の時間における学習の支援を行いました。

今年度は、2 月末現在で 934 人の子どもたちが学習しました。

6 環境教育リーダーの追加養成

環境教育リーダーに応募した候補者に対して育成研修（講義及び実習）を実施し、9 人の新規リーダーを登録しました。

7 環境教育施設バスツアー

複数の環境教育施設を天然ガスバスで回って体験学習を行うバスツアーを、環境教育情報誌を発行する企業との共催で実施しました（実施回数：3 回、参加人数：84 人）。

8 環境未来カップ 2008

スポーツ・レクリエーションを通じて、環境活動に楽しく取り組んでもらうイベントを実施しました。優秀チームは、札幌ドームの天然芝で行うサッカーの試合に出場しました。

(資料1 - 4)

9 さっぽろ こども環境コンテスト

子どもたちと周りの大人へ環境活動の輪を広げていくために、小・中学生を対象とした環境への取り組みを発表するコンテストを開催しました(資料1 - 5)。

注) 「こども環境サミット札幌」については、結果報告済

環境教育関連施策・事業一覧

< 2008 年度版 >

札幌市環境局

目 次

1	はじめに	1
2	環境教育関連施策の進行管理	1
3	達成目標及び環境指標	3
4	環境教育関連事業一覧	4

1 はじめに

「環境教育関連施策・事業一覧」は、札幌市環境教育基本方針に基づき、家庭・学校・地域・職場などのあらゆる場において環境教育を推進するため、具体的な取り組みを明示したものであり、次の3つの項目から構成されています。

環境教育関連施策の進行管理

平成19年度(2007年度)における環境教育関連施策の取り組み状況を把握するとともに、今後の対応策を示しています。

達成目標及び環境指標

札幌市の第2次新まちづくり計画や環境基本計画等に基づき設定された環境教育に関する達成目標及び環境指標を示しています。

環境教育関連事業一覧

平成20年度(2008年度)における札幌市の各部局における環境教育関連事業の実施計画を示しています。

札幌市ではこれらの項目を原則として毎年度とりまとめ、環境教育に関する施策の進行状況を把握し、今後の方向性を示すとともに、市の各部局における環境教育関連事業の実施計画を明示することにより、環境教育を効果的・体系的に推進していきます。

2 環境教育関連施策の進行管理〔平成19年度(2007年度)の状況〕

施策の進行状況

- ・ 環境教育基本方針の推進の4つの柱で示されている施策の中で、プログラムの作成及び情報の共有・活用のためのホームページ開設に重点を置き、検討ワーキンググループを開催しながら平成20年度(2008年度)からの運用を目指しています。
- ・ 効果的に環境教育を推進するために、環境教育関連施設の連携を深め、互いに情報を共有する体制を整えることとしています。

進行に向けた課題等と今後の取組予定

< 進行における課題 >

- ・ 環境教育を行う場として、学校以外の家庭・地域・職場では、作成した環境教育プログラムにアプローチする機会をどのように創出していくかが課題となっています。
- ・ 学校での環境教育は、教科等での学習において環境教育的な要素を充実させることを目的に環境教育プログラムを作成していますが、教育委員会と連携しながら実際にどの程度学校内で活用されているか、把握する手法を検討する必要があります。

< 今後の取組予定 >

- ・ 平成 20 年度（2008 年度）から、環境教育プログラムを市内の小学校・中学校・高校で取り組みながら、プログラムの内容や実施方法について確認し、内容の充実を図っていきます。
- ・ 環境教育の機会づくり・場づくりに関しては、環境教育施設の連携を深めることで効果的な環境教育の場を提供することを目指していきます。

各施策における課題と今後の対応

基本方針の施策	各施策における課題	各施策の課題に対する今後の対応
家 庭	家庭における環境教育については、普及啓発事業を中心に行っていますが、自主的な学習を進める市民の手助けとなるような環境情報やプログラムの提供が必要です。	各学校で設置されている家庭教育学級などを通じ、家庭における環境学習プログラムを浸透させる手法について検討していきます。
学 校	学校での環境教育への取り組みは、地域特性などから、学校の自主的な取り組みにゆだねられているところが大きく、市内の全学校で画一的な環境教育を進めることは難しい状況です。	取り組み事例の発表会など、札幌市環境教育プログラムに基づく活動を推進する仕掛けを構築していきます。
地 域	作成する環境教育プログラムが地域活動で活用しやすいものにするため、改良などを進めていく必要があります。	環境教育プログラムを地域のリーダーに活用してもらうよう、町内会の役員等に環境教育プログラムを周知するとともに、活用した結果等反応を把握し、プログラムを改善していきます。
職 場	大規模の事業者では、社員教育の一環として環境教育に取り組んでいるところもありますが、中小の事業者での社内における環境教育の実施機会があるのか把握できていない状況です。 また、職場における環境教育プログラムの推進方法についても今後の検討課題となっています。	環境マネジメントシステムに取り組んでいる事業者に対し、職場内での環境教育の実施に関する実態調査等を行っていきます。

基本方針の施策	各施策における課題	各施策の課題に対する今後の対応
人材の育成	札幌市のみならず環境団体等が連携しながら、環境に興味のある市民をリーダーとして育成していくシステムを新たに構築することが必要です。	リーダー育成を支援するために、各主体での内部講習などに講師派遣等を実施するなど、環境教育の裾野を広げる取り組みを行っていきます。
情報の共有・活用	ホームページの内容を新しい情報に追加・更新する頻度などを検討する必要があります。	環境教育プログラムや環境教育のホームページに掲載する情報の追加・更新を定期的に行い、提供する情報の内容についても検討していきます。
プログラムの作成	市民の環境に関する知識は様々であり、各レベルに合わせたプログラムを今後充実させていく必要があります。 また、環境プラザにおいて体験型の環境プログラムの充実を図る必要があります。	平成20年度(2008年度)以降は、平成19年度(2007年度)に作成するプログラムを実践する中で、教育関係者や実践者の意見を反映し、プログラムの修正・追加を行っていきます。
機会づくり・場づくり	環境教育関連施設が多数あるものの、現時点ではそれぞれが独自に環境教育等を実施しているため、より効果的な機会や場づくりをしていく必要があります。	環境プラザを環境に関する総合窓口と位置付け、他の環境教育関連施設との連携のあり方を検討していきます。施設連携については、市有施設のみ対象とするのではなく、市内にある各種団体や民間事業者の施設との連携も視野に入れて進めていくこととします。

3 達成目標及び環境指標

達成目標

項目	目標値	目標時期
学校における「エコライフレポート」の提出枚数	54万枚	2010年度

環境指標

項目	めざす方向
こどもエコクラブ加入者数	増加
環境教育関連事業実施数	
環境保全アドバイザー制度利用者数	
環境教育リーダー制度利用者数	
環境関連活動団体数	
ホームページアクセス件数	
環境教育プログラムの数	

4 環境教育関連事業一覧〔平成20年度(2008年度)〕

No	事業名	事業の概要	分野別の関連			担当課・ 電話番号
			エネ	ごみ	自然	
1	ミュンヘン・クリスマス市 in Sapporo	会場で使用するカップや皿については、リターナブル容器を使用し、会場内で洗浄、再使用します。				総務局 国際部交流課 211-2032
2	消費生活に関するセミナー・イベント等の開催	環境にやさしい消費生活を実践するため、「暮らしのエネルギー事業・最新省エネ情報」のパネル展示を開催します。				消費者センター 728-2111
3	エコクッキング事業	地域住民を対象に、エコクッキング講座、パネル展などを各区で実施します。また、ボランティア団体である食生活改善推進員協議会が食を通じた健康づくりとエコクッキングを地域へ広めるための講習会等を開催します。				保健福祉局 保健所 健康企画課 622-5151
4	児童会館事業	児童会館全館(104館)において、地域のごみ拾い、リサイクル工作などの事業を実施するとともに、畑作りやハイキング・キャンプ・自然体験などの野外活動を通じた環境全般への関心を高める取組を行っています。				子ども未来局 子ども育成部 子ども企画課 211-2982
5	子育て支援事業	資源ごみを使い、手作りおもちゃをつくり常設子育てサロン内で使用したり、作り方レシビを置き、保護者に知らせています(ティッシュ箱いす、牛乳パックのパクパク人形、牛乳パックとペットボトルふたの鳴子)。 子育て支援総合センター内で講座で、ラップの箱を使ったパタパタ絵本作りを開催しています。 全市の子育てボランティアを対象に資源ごみを使用した手作りおもちゃの研修会を開催しています。				子ども未来局 子育て支援部 子育て支援総合センター 208-7961
6	子育て講座「我が子の絵本づくり」	牛乳パック・ケーキの箱などのリボンなどを再生利用し、手作りの我が子の絵本を作っています。				子ども未来局 子育て支援部手稲区保育・子育て支援センター 681-3162
7	小学校・中学校への出前教室	出前講座の一環として小学校・中学校へ出向き「ごみの減量とリサイクル」について授業を行います。				環境局 環境事業部 ごみ減量推進課 211-2928
8	ごみ減量アクションプログラム支援事業	さっぽろスリムネットにおいて、次の5つのプロジェクトを展開し、ごみ減量・資源化の推進を図ります。 生ごみ減量、紙ごみ減量、容器包装減量、リユース実践、普及啓発				
9	普及啓発冊子の充実	ごみの減量に関する啓発冊子「さっぽろ GOMI マガジン」や、生ごみを堆肥化するための情報をまとめた「生ごみハンドブック」のほか、資源物リサイクルの流れを分かりやすく紹介する「札幌市のリサイクル」を平成19年度から発行し、周知・啓発を図っています。				
10	定山溪地区生ごみ堆肥化モデル事業	ホテル・旅館から排出される生ごみを堆肥化し、農産物生産にまで結びつけることで、地域振興にも寄与する地域内循環について検討していきます。				
11	廃食油のリサイクル	スーパーマーケット、レストラン等に設けられた回収拠点にて、市民から使用済み食用油を回収し、バイオディーゼル燃料に資源化します。				
12	集団資源回収	紙類・びん類・金属類・布類について、登録団体に対し、資源の回収量1kgにつき2円の奨励金を交付します。また、回収業者にも1kgにつき1円の奨励金を交付します。				
13	出前工作教室	児童会館の利用者を対象として、発寒工房でリユース出来なかった木製家具の廃材を活用し、ペン立てやCDラックなどを作ることで、創意工夫による物の大切さを教えます。				
14	買い物ゲーム出張講座	ゲームを通して、ごみを出さない買い物について学ぶ「買い物ゲーム」を、希望場所まで出向いて実施する出張講座をさっぽろスリムネットにおいて実施しています。				

分野別の関連：「エネ」はエネルギーや省エネルギー、「ごみ」はごみ減量・リサイクル、「自然」は水とみどりなどの自然に関連する事業です。

No	事業名	事業の概要	分野別の関連			担当課・ 電話番号
			エネ	ごみ	自然	
15	おもちゃぱりっこ	使わなくなったおもちゃを持ってきて、気に入ったおもちゃと交換することができる「おもちゃの交換会」をさっぽろスリムネットにおいて開催しています。(札幌消費者協会との共催)				環境局 環境事業部 ごみ減量推進課 211-2928
16	ごみを減らすための4R講座	ごみ処理の現状、資源回収の正しい知識を身につけ、地域のごみ減量・リサイクル活動を推進するリーダーを養成する講座を実施します。				リサイクル プラザ宮の沢 671-4153
17	市民ごみ減量講座	市民向けにごみの減量・リサイクル等に関する学習会を実施します。				
18	リフォーム教室	古着及び家具などの自己修理の技術的な指導を実施します。				
19	ごみニュケーションさっぽろの発行	ごみ減量・リサイクルに関する啓発用の資料として、「ごみニュケーションさっぽろ」を発行します。				
20	小学校での体験型ごみの分け方・出し方教室	清掃事務所職員が小学校に出向き、ごみの分け方・出し方について実践的に学んでもらいます。また、希望により、ごみ収集車の展示、説明、模擬ごみの積み込み作業も行います。				
21	クリーンさっぽろ衛生推進協議会の活動支援	クリーンさっぽろ衛生推進協議会に対し、環境美化・ごみ減量・リサイクル推進の活動を支援するとともに、以下の事業を実施します。 ・ごみゼロの日に、ポイ捨て防止・環境美化を呼びかける街頭啓発やごみ拾いを実施します。 ・ごみ処理事情の最前線の報告などを主体とした研修会を実施します。 ・地域活動の功績を称え、町内会や個人などを表彰します。 ・ポイ捨て防止やエコ市民運動の普及啓発、実践に努めます。				環境局 環境事業部 業務課 211-2916
22	清掃工場への施設見学対応	小学生・中学生や町内会などの清掃工場の見学者に、ごみ処理の仕組みを教えます。				環境局環境事業部 施設管理課 211-2922
23	環境白書の作成	環境の状況、環境への負荷の状況、札幌市環境基本計画に基づいて実施された施策の状況などを公表するために「札幌市環境白書」を作成します。				
24	環境基本計画推進事業	札幌市環境基本計画(戦略的施策プログラムを含む)について、毎年度進捗状況を点検・評価することなどにより進行管理を行います。				
25	さっぽろエコ市民運動	市民の皆さんに、四半期ごとに発行される「エコライフレポート」に基づいたエコ行動(環境に配慮した行動)を継続してもらい、その行動によるCO2削減量の試算値を算出し、同程度の量を吸収・貯蔵できる樹木の本数に換算して「エコライフの森」として植樹します。				
26	自動車環境保全推進事業	エコドライブの実践を推進するため、不要なアイドリングが多く見られる春と秋に、エコドライブコンテスト、エコドライブ講習会、街頭啓発キャンペーン、ラジオ広報など、具体的で分かりやすい啓発活動を行います。				環境局 環境都市推進部 推進課 211-2877
27	環境教育基本方針推進事業	環境教育に関する施策の進捗状況や効果などについて、家庭・学校・市民団体・事業者、札幌市が協働により、定期的に評価・検証を行います。				
28	環境教育へのクリック募金	環境プラザのホームページ内に企業の環境への取り組みを紹介するページを作り、そのページの1閲覧(1クリック)につき5円の寄附をいただくことで、市内の小中学校に環境教育教材を寄贈します。				
24	環境教育ホームページによる情報提供	環境保全のホームページ内に環境教育のページを設け、環境教育に関する施設・人材派遣・プログラム等の情報を提供します。				
30	環境情報誌「えこぼろ」の発行	市内で行われる環境に関する講演会や学習会、イベントなどの情報をチラシやホームページでお知らせします。				

分野別の関連:「エネ」はエネルギーや省エネルギー、「ごみ」はごみ減量・リサイクル、「自然」は水とみどりなどの自然に関連する事業です。

No	事業名	事業の概要	分野別の関連			担当課・ 電話番号
			エネ	ごみ	自然	
31	環境教育プログラムの策定	学校・家庭・地域・職場のそれぞれの場のリーダーが環境教育を進めるための手引きとして、環境教育プログラムを策定し、ホームページ等で提供します。				環境局 環境都市推進部 推進課 211-2877
32	総合的環境副教材の作成	授業などで活用できる環境に関する副教材を作成し、市内全小学生に配布しています。また、平成20年度版の作成の際に、副教材をより使い易いものにするため、改訂を行いました。				
33	環境関連施設見学用バスの借上げ	小学校に対し、環境関連施設を見学する際に必要な交通手段としてバスの借上げを行います。				
34	環境教育関連施設バスツアーの実施	小学生及びその親を対象に、市内の環境教育関連施設をグリーンエネルギーバスで回って体験学習を行うツアーを実施します。				
35	「環境首都・札幌」宣言事業	「環境首都・札幌」の実現を目指すための宣言を行います。また、「札幌地域エネルギー戦略会議」からの報告に基づき、より実効性のある総合的なエネルギー・環境施策を構築します。				
36	「こども環境サミット札幌」の開催	国内外の子どもたちが共に考えた「地球を守るためのメッセージ」を世界に向けて発信します。				
37	北海道洞爺湖サミット記念 環境総合展2008の開催	北海道洞爺湖サミットの開催に向け、地球環境というグローバルな課題を最先端で考え実践している産業界等の環境問題への取り組みを世界に発信します。				
38	環境未来カップ2008の開催	子どもたちが、スポーツやクイズを通じて楽しみながら環境活動に取り組むイベントを開催します。上位チームは、札幌ドームでサッカーの試合ができます。				
39	環境コンテストの開催	小学生・中学生・高校生を対象に、環境活動や環境に関する作品を募集し、コンテストを開催します。				
40	「さっぽろキャンドルナイト2008」の開催	1年中で一番昼が長い夏至の日、夜8時から10時の2時間、みんなで一緒に電気を消して、スローな夜を過ごそうという呼びかけを広く市民に行い、市内各所にてキャンドルを使ったイベントを実施します。				
41	環境に関する各種情報の提供	チラシや冊子、インターネットなどにより、環境の現状に関する情報やセミナー・イベントなどの情報を提供します。				環境プラザ 728-1667
42	展示コーナーを利用した説明	展示コーナーの見学者や視察・総合学習などに対応し、環境について学んでもらいます。				
43	環境に関する相談対応	環境に関する相談窓口を設置し、相談員が対応します。				
44	環境に関する活動の場の提供	ミーティングルームや環境研修室の貸出を行い、環境に関する活動の場を提供します。				
45	環境に関する市民活動団体の登録・紹介	環境に関する市民活動団体の登録を行うとともに、相談に来た市民に対する活動団体の紹介も行います。				
46	環境に関する各種講座・イベントの実施	教員や子ども、一般市民を対象に、環境教育に関する講座やイベントを実施します。				
47	環境保全アドバイザー制度	市内の市民団体、NGO、町内会、PTA等が主催する環境に関する学習会・講演会・自然観察会等に、各分野の専門家を講師として派遣します。				
48	環境教育リーダー制度	学校の「総合的な学習の時間」などの授業やクラブ活動、観察会等に、助言や解説等を行う講師を派遣します。				
49	こどもエコクラブの活動支援	こどもエコクラブの登録の手続きや、子どもたちの環境に配慮した活動への支援を行います。				
50	札幌市役所におけるISO14001への取り組み	全庁を対象としてISO14001に取り組み、継続的改善を図っていきます。				環境局環境都市 推進部環境マネ ジメント担当課 211-2879
51	環境マネジメントシステムの推進	札幌市生活環境の確保に関する条例に基づく環境保全行動計画や自動車使用管理計画の作成・提出などを通じて、事業者の環境マネジメントシステムの推進を図っていきます。				

分野別の関連：「エネ」はエネルギーや省エネルギー、「ごみ」はごみ減量・リサイクル、「自然」は水とみどりなどの自然に関連する事業です。

No	事業名	事業の概要	分野別の関連			担当課・ 電話番号
			エネ	ごみ	自然	
52	サッポロECOメニューの発行	札幌市生活環境の確保に関する条例の環境保全行動マニュアルとして、事業者のための環境活動ガイドブック「サッポロECOメニュー」を発行し、事業者に配布します。				環境局環境都市推進部環境マネジメント担当課 211-2879
53	EMS等運用アドバイザー派遣制度	事業活動の現場にEMS専門家を派遣して、「環境マネジメントシステムとは？」から「より効果的な実践方法」など、ニーズに沿ったアドバイスを行い、事業者の取組みを支援します。				
54	水辺とのふれあい推進事業	小学生・市民団体を対象に、身近な川の自然観察をすることにより水環境保全の意識を持ってもらうため、地域の川での水生生物観察会を支援します。また、取り組み事例の発表会も実施します。				環境局 環境都市推進部 環境対策課 211-2882
55	太陽光発電等設置モデル事業	エネルギーに関する教育の身近な教材として、小学校に太陽光発電設備などを導入します。				環境局 環境都市推進部 エネルギー対策課 211-2872
56	さっぽろふるさとの森づくり事業	手稲区の山口緑地、北区の茨戸川緑地、大通公園において植樹祭を実施する等、市民参加による森づくりを推進します。				環境局 みどりの推進部 みどりの推進課 211-2522
57	木立を感じる街づくり事業	緑の協定や各種イベントなどを通して地域や家庭での植樹を推進します。				
58	北緯43°花香る北の街づくり事業	市民と協働で花苗を育成して植栽活動を行い、緑づくりに取り組みます。 また、道路残地などの公共未利用地において地域の方々が主体となった花壇づくりを推進します。				
59	みんなが集い学び楽しむ公園緑地づくり事業	公園緑地の利活用促進、公園緑地におけるボランティア活動や樹木落葉等のリサイクル活動の拡充のため、担い手となる市民と協働のもと下記の取り組みを一体的に展開・実施します。 環境教育の場としてなど公園緑地の利活用促進に関する検討・企画・実施のための市民参加によるワークショップや情報提供等のための拠点・ネットワークづくりを進めます。 公園・森林ボランティア活動の拡充・促進のため、資材提供・技術指導等の支援、普及啓発のほか、森林ボランティアと協働による立木調査・管理方針策定を行います。 公園緑地での落葉等のリサイクル活動の拡充・促進のため、堆肥ヤードの設置、市民と協働での腐葉土づくり、市民配布等を行います。				環境局 みどりの推進部 みどりの管理課 211-2336
60	白旗山都市環境林での体験学習等の実施	白旗山都市環境林では、森林、林業、自然のしくみなどの理解を深めてもらう体験学習の場として、ふれあいの森・自然観察の森を中心に市民を対象に観察案内人による定期的な自然観察会、森に関するクイズに答えながらコースを周るクイズの森、冬期間には「かんじき」の無料貸出による自然観察コースを設定しています。このほか木工教室や間伐材を燃やして使う穴窯による陶芸教室を開催しています。 盤渓・豊滝・白川市民の森では、親子で参加できる自然観察会を実施しています。				豊平川 さけ科学館 582-7555
61	サケについての実習	サケの稚魚を川に放流する「サケ稚魚体験放流」や、川に帰ってきたサケを観察する「サーモン・ウォッチング」などを実施します。				
62	円山動物園教育普及事業	環境教育の場としての動物園を有効に利用してもらうことを目的とし、下記の事業を行います。 ・小中学校の総合的な学習の時間の受け入れ ・一日飼育係、解説等の実施 ・動物園の利用方法や飼育作業の様子、動物と環境の関係等について紹介するビデオやカレンダー、チラシなどの作製 ・貸し出し用を含む教材の開発と製作 ・動物と環境のかかわりについての特別展示				円山動物園 621-1426

分野別の関連：「エネ」はエネルギーや省エネルギー、「ごみ」はごみ減量・リサイクル、「自然」は水とみどりなどの自然に関連する事業です。

No	事業名	事業の概要	分野別の関連			担当課・ 電話番号
			エネ	ごみ	自然	
63	円山動物園環境教育プログラムの策定	動物との関わりを通じて、環境やいのちの大切さを学ぶことができるプログラムを策定します。				円山動物園 621-1426
64	園内ピオトープの設置	身近な自然にふれあえるようにするため、園内各所にピオトープを設置します。				
65	こども動物園における環境教育プログラムの実施	子どもたちがいのちの大切さを学ぶため、ふれあいと体験を重視したこども動物園の環境教育プログラムに取り組みます。				
66	動物病院を活用した環境教育プログラムの開催	子どもたちがいのちの大切さや動物の生態を学ぶため、園内動物病院での環境教育プログラムに取り組みます。				
67	出前講座	動物園での環境教育の学習効果を高めるため、遠足などの来園前に学校への出前講座を行います。				
68	園内施設的环境教材としての利用	動物園内に省エネルギー・新エネルギー施設の導入を行い、それらの施設を環境教材として利用します。				農業支援 センター 787-2220
69	農業に関する体験事業	「親子農業体験」、「夏休み野菜体験隊」など、農業について体験できるイベントを実施しています。				
70	さとらんど交流館前広場記念植樹	「こども環境サミット」に参加する子どもたちと、さとらんど周辺の住民で組織する「友好の桜並木を創る会」及び周辺小学校児童が共同で、100本の桜の苗木を植えました。				サッポロさとらんど 787-0223
71	農業に関する体験事業	野菜の収穫やバター・ソーセージなどの手づくり体験をすることができます。				観光文化局 観光部 観光企画課 211-2376
72	さっぽろに緑を広めよう	第一回を5/31「藻岩山の日」に実施。環境林づくり研究所所長による基調講演・紙ねっこんを使った植林用のポット苗の製作を実施した。また、10/25に第二回を開催。同所長による基調講演、藻岩山登山による木のタネ拾い、そのタネを使った空きペットボトルを活用した植林用苗木ポットの作成を行います(予定)。				観光文化局 文化局 市民文化課 211-2261
73	サッポロ・シティ・ジャズ2008	大通公園に設置するドーム型テント「ホワイトロック」を中心に、市内各所でジャズライブ等を開催する。そのうち、ホワイトロックで使用する電気(照明・音響・映像等)について、バイオマスエネルギーによる供給を行います。				観光文化局 文化局 市民文化課 211-2261
74	体験学習会、企画展 ・「湿原をめぐる～札幌の“原風景”～」他7件	市内に残された貴重な自然や身近な動植物についての観察会・写真展等を行い、身の回りの生態系や環境問題について学びます。				観光文化局 文化局 市民文化課 博物館活動センター 200-5002
75	海岸を歩く、見つける、集める、考える～漂着物集めと化石採取	漂着物を通して、札幌での都市生活も川で海とつながっており、さらに海は世界とつながっている環境であることを学ぶ。また、海の中で起こっている環境問題について学びます。				建設局 管理部企画課 211-2481
76	博物館交流紙「ミュージレター」の発行	年4回発行し、区役所や図書館等関連施設で配布している。33号に「ぬけがらに注目!」、34号に「バイオエタノール原料と高校生物」というタイトルで自然科学に関する読み物を掲載。				下水道科学館 717-0046
77	環境報告書の発刊	環境報告書をHPで公表することで環境保全活動の普及啓発を図ります。				建設局 下水道河川部 河川計画課 818-3414
78	下水道モニター事業	水環境保全等のため、下水道事業に関する市民意識の把握と広報活動を目的として、下水道モニターを委嘱し、連絡会や施設見学会を実施します。				
79	下水道科学館における広報事業	下水道科学館では、展示などを通じて、下水がどのようにきれいになっていくかをわかりやすく説明しています。また、下水道事業をお知らせするイベントとして、毎年9月に開催する「下水道科学館フェスタ」や、実験工作教室、勉強会などを実施しています。				
80	多自然川づくり追跡調査の公開	札幌市の河川が自然豊かであることを幅広く市民に知ってもらうため、多自然川づくり追跡調査のうち、魚類調査を中心に生息生物を実際に見学してもらっています。H20年度は、見学会として「生物観察会」を1回、開催しています。				

分野別の関連：「エネ」はエネルギーや省エネルギー、「ごみ」はごみ減量・リサイクル、「自然」は水とみどりなどの自然に関連する事業です。

No	事業名	事業の概要	分野別の関連			担当課・ 電話番号
			エネ	ごみ	自然	
81	出前講座	市有建築物を建設するにあたって取り入れられている、自然エネルギー・省エネルギーについて紹介しています。				都市局建築部 建築企画課 211-2816 機械設備課 211-2828
82	環境にやさしい公共交通利用促進キャンペーン	環境にやさしい交通機関として、地下鉄及び路面電車の利用促進をPRします。具体的には、公共交通機関利用によるCO2削減などを記載したチラシを作成し、職員が駅構内で利用者等へ手配りするほか、沿線の企業及び個人宅を直接訪問して配布します。				交通局 高速電車部業務課 896-2742(2425)
83	夏休み親子水道施設見学会	小学校中・高学年の子どもと保護者を対象とし、水道がどのようにして家庭まで届くのかをダムや浄水場等の各施設を見学し、説明を受けることで学習してもらいます。このことにより、水資源の有限性、水の貴重さ、水資源開発の重要性などについての認識と水道事業についての理解を深めてもらいます。				水道局 総務部総務課 211-7007
84	水道記念館での体験型学習	水道記念館では、展示室全体で大自然から大都会そして海へと向かう水の旅を表現し、参加・体験をしながら、水道を通して自然環境と人間の関わりを考え、水や自然の大切さを学ぶことができます。				水道記念館 561-8928
85	近隣諸国等との協力推進	JICA 研修員の受け入れを実施し、その際に水道局の環境配慮型経営の内容を含めたプログラムを実施することで、環境への意識を海外に向けても発信しています。				水道局 総務部財務企画課 211-7016
86	環境報告書の作成・公表	環境報告書を毎年度作成・公表することにより、水道局の環境配慮型経営を市民等に周知し、環境への意識啓発をするともに、職員の環境配慮意識の向上を図っています。				
87	水道事業に関する出前講座	水道事業における環境負荷と、環境マネジメントシステム、環境会計、各種施策などの取組について紹介します。				
88	手づくり樹名板製作事業	区内の小中学校へ、身近な公園の樹木の名前を調べ、みどりの大切さや役割を学びながら、最後に樹木に樹名板をつけみどりに親しんでもらう機会を提供する事業で、毎年2校程度に呼びかけ実施しています。(平成20年度は参加1校)樹名板に使用する板材は、風倒木や公園再整備事業で発生した伐採木を加工して使用しています。)				中央区 土木部 維持管理課 614-5800
89	種から育てる花苗づくり支援事業	地域住民等に種から花苗を育ててもらい、公園の花壇、植樹樹、植樹帯に植栽し花のある魅力ある快適環境の保全・創出を進める取り組みを実施します。				北区市民部 地域振興課 757-2401
90	世代間交流フラワーネット事業	北24条地区において、近隣の小学校児童と地域の高齢者との共同による植花作業を通じ、地区の緑化を進めるとともに、世代間交流の促進を図っています。				北区市民部 地域振興課 757-2400 土木部維持管理課 771-4211
91	北8条アマとホップのフラワーロード事業	北区と東区にまたがる北8条通付近は、かつて麻布を製造していた帝国製麻工場やサッポロビールの前身である開拓使麦酒醸造所があった札幌にとって歴史的な道路です。東区との連携で、札幌駅前を基点として、地域の歴史にゆかりのあるアマとホップを地域住民と企業等との協働で植樹樹に植栽し、「アマとホップのフラワーロード」として維持管理と環境美化を進め、まちの魅力アップを図ります。				北区市民部 地域振興課 757-2400 土木部維持管理課 771-4211
92	不法投棄・ポイ捨て防止事業	不法投棄のある場所、その恐れがある場所に、不法投棄の防止を呼びかけるのぼり旗を設置するなどの防止策をとることで、地域環境の改善を図ります。活動は、地域住民や学校との協働で行うことにより、普段からその場所に人の目が注がれていることをPRします。				北区市民部 地域振興課 757-2400
93	東区キャンドルナイト	児童会館と東区の共催により、キャンドルナイトの趣旨説明、アロマキャンドルづくり、キャンドルサービス体験などを実施しました。また、併せて演奏会を開催し、多数の参加がありました。				東区市民部 地域振興課 741-2400

分野別の関連：「エネ」はエネルギーや省エネルギー、「ごみ」はごみ減量・リサイクル、「自然」は水とみどりなどの自然に関連する事業です。

No	事業名	事業の概要	分野別の関連			担当課・ 電話番号
			エネ	ごみ	自然	
94	「清田区ごみゼロキャンペーン」(環境保全活動推進事業)	ゴミゼロの日(5月30日)における区役所周辺の清掃・美化活動、「ポイ捨て防止」の街頭啓発運動を、清田区クリーンさっぽろ衛生推進協議会との共催で実施しています。				清田区市民部 地域振興課 889-2400
95	「夏休み子どもごみサミット」(施設見学会)	清田区クリーンさっぽろ衛生推進協議会との共催で、区内小学校から推薦された児童を対象として、篠路清掃工場や中沼プラスチック選別センターなどの清掃事業関連施設を見学します。				
96	「あしりべつ川体験塾」	子どもたちの環境教育や環境美化を目的として、地域のボランティア団体の協力の下、魚の捕獲・観察や清掃活動を行います。講師として豊平川さけ科学館の職員が参加します。				
97	「白旗山フェスティバル」	体育の日に、白旗山競技場において、スポーツや自然を気軽に楽しめるイベントを開催します。スポーツ系イベントのほか、白旗山で活動している団体などの紹介ブースを設け、自然ウォッチング・白旗山ハイキング・カミネッコン製作などを行います。				
98	食育推進事業	食を通じた健康づくりを普及させるため、区民を対象に講座や調理実習を実施していますが、その中で、買い物から余った材料の捨て方まで、ごみ減量に配慮する観点を採り入れています。				清田区 保健福祉部 健康・子ども課 889-2400
99	こども西区民会議ネットワーク支援事業	子どもたちを対象に以下の事業を実施することで、次世代の活動実践者としての成長を促しています。 ・キャンドルナイト in 琴似二十四軒【再掲】 ・エコキッズ・プログラム推進事業 ・西区子ども体験学校 ・こども環境活動発表会 など				西区市民部 地域振興課 641-2400
100	地球に優しいまちづくりを進める西区民会議活動支援事業	地域・学校・企業等から構成される「地球に優しいまちづくりを進める西区民会議」において、以下の環境に関する教育・学習、普及啓発活動を通じ、地域ぐるみでの環境活動の促進を図っています。 ・キャンドルナイト in 琴似二十四軒 ・美味しいエコフェスタ ・エコまち西区 de リレーイベント～「さんかくやまべえと行く。」親子エコツアー ・環境活動手引き絵本「さんかくやまべえが行く。」活用 など				
101	生ごみリサイクル循環型地域形成推進事業	市民活動団体と連携し、前田森林公園拡張地における生ごみ堆肥化を活用した農園での農業体験や環境教育の取り組みを支援します。また、リサイクル活動に力を入れている関係団体との連携を深めながら、ダンボールを使った生ごみリサイクル講習会を実施します。				手稲区市民部 地域振興課 681-2400
102	エコ体験会	手稲区の環境について親子で考える体験事業として、手稲区民センターとの共催により、札幌市環境教育リーダーのもと、星置川の水中生物の捕獲・観察や水質検査等を通じて環境保全について学ぶなどの環境学習を行っています。				
103	さっぽろ学校給食フードリサイクル	学校給食を作る過程で発生する調理くずや残食などの生ゴミを堆肥化し、その堆肥を利用して作物を栽培します。そして、できた作物を学校給食の食材に利用し、食育環境教育の充実を図ります。				教育委員会 総務部管理課(栄養指導担当) 211-3833
104	学校の教科や総合的な学習の時間における環境教育	学校において、教科や総合的な学習の時間において、省エネ(節電や節水)、ごみ減量・リサイクル(教室のごみの分別や給食の残食等の分別)、水とみどりの大切さ(一人一鉢等の植栽活動や街路樹ます花壇等への植栽)などに関する環境教育を行います。				教育委員会 指導担当課 211-3861
105	給食用牛乳パックのリサイクル	学校給食用の牛乳パックのリサイクルを行うことで、ごみの減量とリサイクルについて学びます。				
106	PTAなどと連携した環境活動	学校とPTA、家庭教育学級や地域と連携し、資源回収や地域の清掃などの活動を行います。				

分野別の関連：「エネ」はエネルギーや省エネルギー、「ごみ」はごみ減量・リサイクル、「自然」は水とみどりなどの自然に関連する事業です。

No	事業名	事業の概要	分野別の関連			担当課・ 電話番号
			エネ	ごみ	自然	
107	学校研究モデル校事業	市立の小学校、中学校、高等学校に環境教育に関する研究を委託し、3年間の長期的展望に立った先駆的な研究に取り組んでいます。				教育委員会 指導担当課 211-3861
108	青少年科学館での環境に関する展示	環境地球儀や人工降雪装置、低温展示室等の展示を行っています。				青少年科学館 892-5001
109	北方自然教育園での自然体験学習会	自然に触れ、親しむ場として、市内の小学生、中学生及びその家族を対象に自然体験学習会を実施しています。				北方自然教育園 596-3567
110	定山溪自然の村での自然体験型プログラムの実施	自然や動植物の大切さ、接し方について理解を深めるため、森の学習会や星空観察会、自然&環境ワークショップなどのプログラムを実施しています。				定山溪自然の村 598-3100

分野別の関連：「エネ」はエネルギーや省エネルギー、「ごみ」はごみ減量・リサイクル、「自然」は水とみどりなどの自然に関連する事業です。

環境教育関連施策・事業一覧
< 2008 年度版 >

編集・発行：札幌市 環境局 環境都市推進部 推進課

〒060-8611 札幌市中央区北 1 条西 2 丁目

電話 (011) 211 - 2877

FAX (011) 218 - 5108

札幌市の環境教育のページ

http://www.city.sapporo.jp/kankyo/kankyo_kyoiku

(環境教育関連施策・事業一覧はホームページでもご覧いただけます)



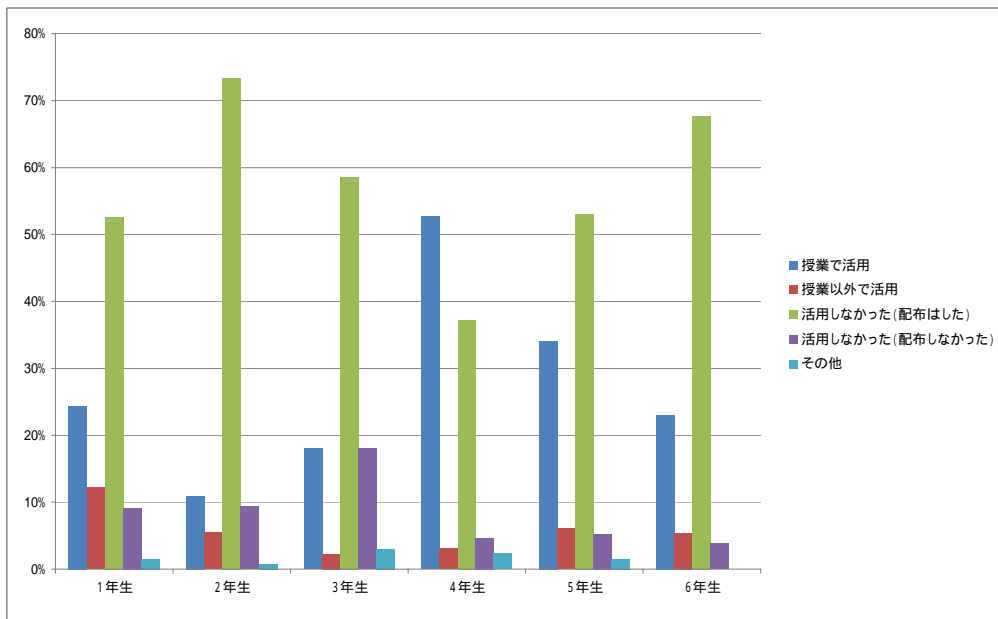
札幌市総合的環境副教材アンケート 集計結果

1. 回答数について

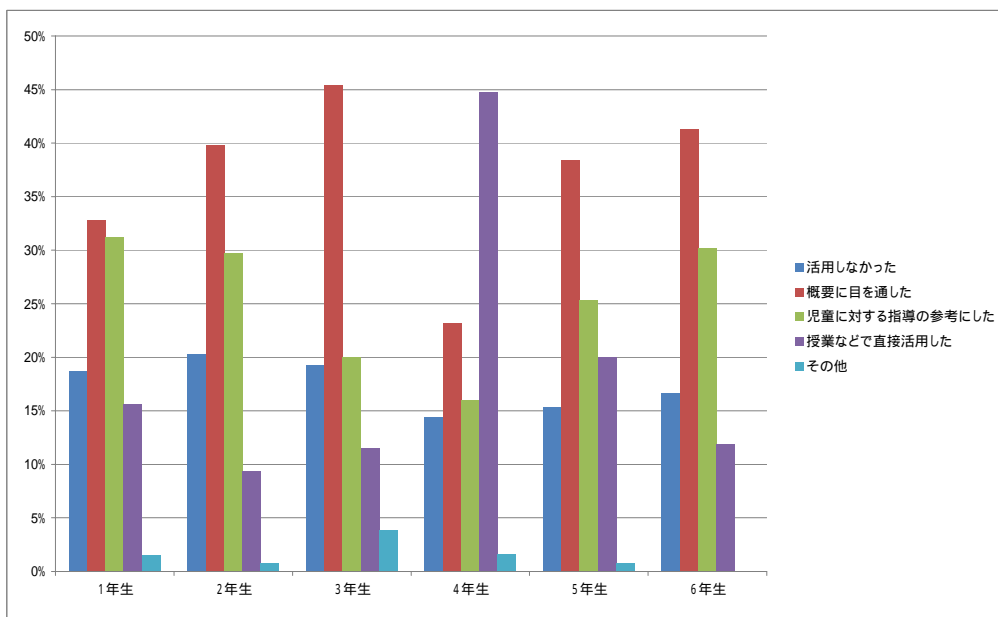
1年生	133
2年生	133
3年生	134
4年生	131
5年生	133
6年生	131

合計回答数	795
-------	-----

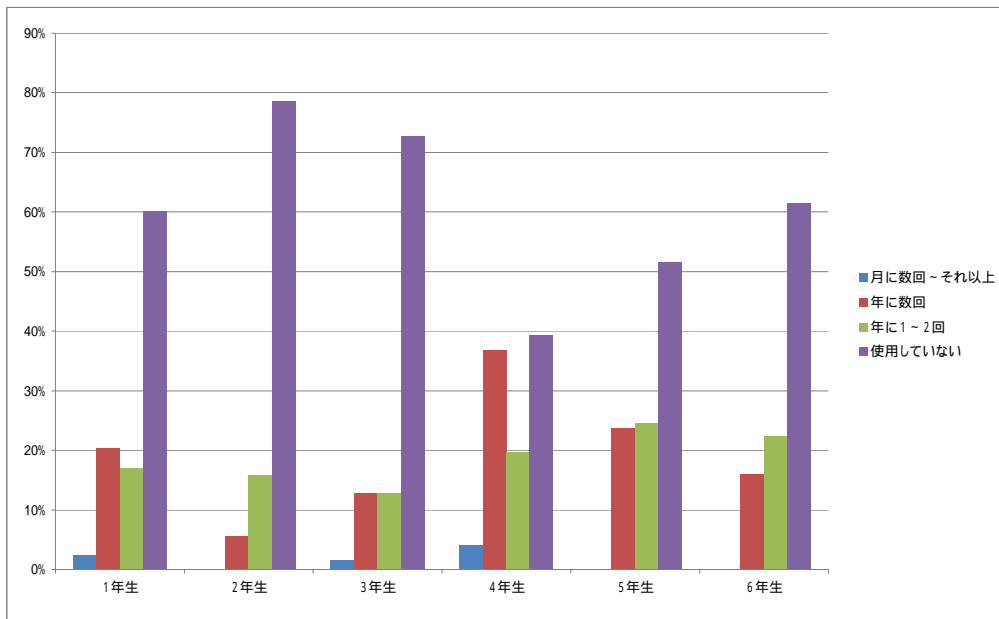
2. 児童への活用率



3. 教師の活用率

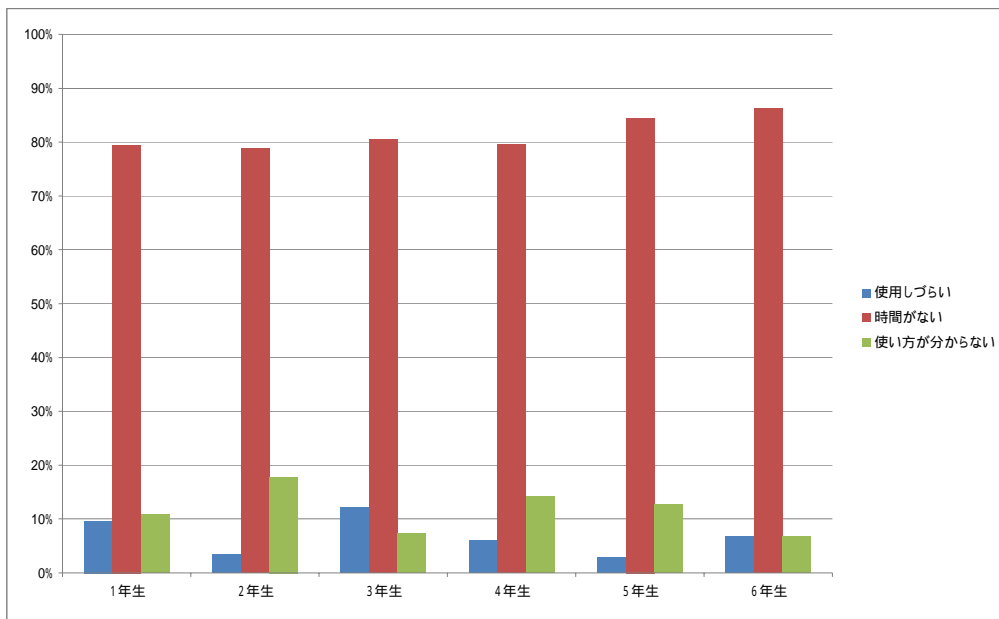


4. 活用頻度



活用頻度の高い科目は3～4ページ参照

5. 4. で使用していない理由



4. で活用頻度の高かった科目

1年生

学活	給食大すき	給食指導に活用した
生活	雪となかよし	ガイダンスとして
生活	学校たんけん	教科書の補助、興味を持たせる為、たんけんの視点を参考にした、活動のヒント
生活	たんけんしよう	校内たんけん、公園たんけん、読むきっかけ
生活	楽しい学校・家族と一緒に	単元の導入時に
生活	秋を見つけよう、冬を楽しもう	作品作りの参考
生活	きせつをたのしもう	生活科の学習の中で関連させた
生活	ともだちいっぱい作るんだ	補助・発展教材として、学校の周りをたんけんする前に資料として使った、
生活	あきをさがしに	授業の導入時、読み聞かせた
生活	なつやすみだいすき	自由研究の計画
生活	森で虫をさがそう	活動の参考
生活	そとにいこうよ	教科書の補助
生活	学校となかよし	読んで話し合った、給食指導・生き物さがし
生活	お手伝い大作戦	例として話す
総合	宇宙船地球号	調べ学習の資料
道徳	学校たんけん、自然・愛護	共通理解の手立てとして、読み物として

2年生

生活	学校たんけん	観察・調査の方法を参考にした、手順のガイダンス、たんけんの楽しさを知る
生活	とびだせたんけん隊	資料として
生活	きせつをたのしもう	参考資料として
生活	ときわたんけんたい	オリエンテーリング
生活	あきをさがしに	資料として
生活	わくわくまちたんけん	資料として
生活	スノーランド	学習のまとめ
生活	もっと町の人となかよくなるう	活動の参考
学活	楽しい給食	副教材を読みました、参考資料として

3年生

総合	環境	オリエンテーションの一環として、調べ学習の資料、リサイクル・ごみ減量の調査
総合	ごみを減らそう	ごみについて見つめ直す視点を参考にした、ごみの分別を理解するように
総合	美しい地球	ごみについて調べる時に使用
総合	地域を見つめて	参考資料として
総合	私たちの暮らしと雪	調べ学習の資料、雪の結晶の観察
総合	冬・雪をテーマに	補助資料として
社会	私たちの市	除雪、マップを資料として使用、札幌の自然について知る、施設について説明
社会	わたしちのくらしとごみ	写真を見た、参考資料として
社会	市のようすしらべ	札幌市の施設を調べる時に
社会	見直そう私たちのくらし	リサイクルについて資料を活用した、調べ学習の資料
学活	夏・冬休みの生活	自由研究の参考に

4年生

社会	ごみはどこへ	調べ学習の資料、新聞作りに活用、教科書の補助、読み聞かせた
社会	安全な暮らしとまちづくり	調べ学習の資料
社会	健康な暮らしと街づくり	副教材として、指導資料、調べ学習の資料、水やごみの実態を知る為
社会	私たちの暮らしとごみ	リサイクルマーク・GOMI マガジン
社会	私たちの暮らしと水	中の図を参照した、授業の資料として、私たちの札幌と併用
社会	水はどこから	校外学習の参考に、視覚的な印象を持つ為に、上下水道について調べた
社会	安全な暮らしとまちづくり	札幌市のデータを教科書（相模原）と比較
社会	買い物しらべ	環境に配慮した買い物の工夫
社会	暮らしとごみ	学習後まとめとして活用
総合	リサイクル	リサイクルの方法を参考にした
総合	地球にやさしく隊	エコライフレポートを参考にした、冬休みの取り組みを発表に生かす
総合	水の大研究	研究の為の資料
総合	地球防衛隊	新聞やテーマに沿ってまとめ発表
総合	発寒川たんけん	水、川の学習

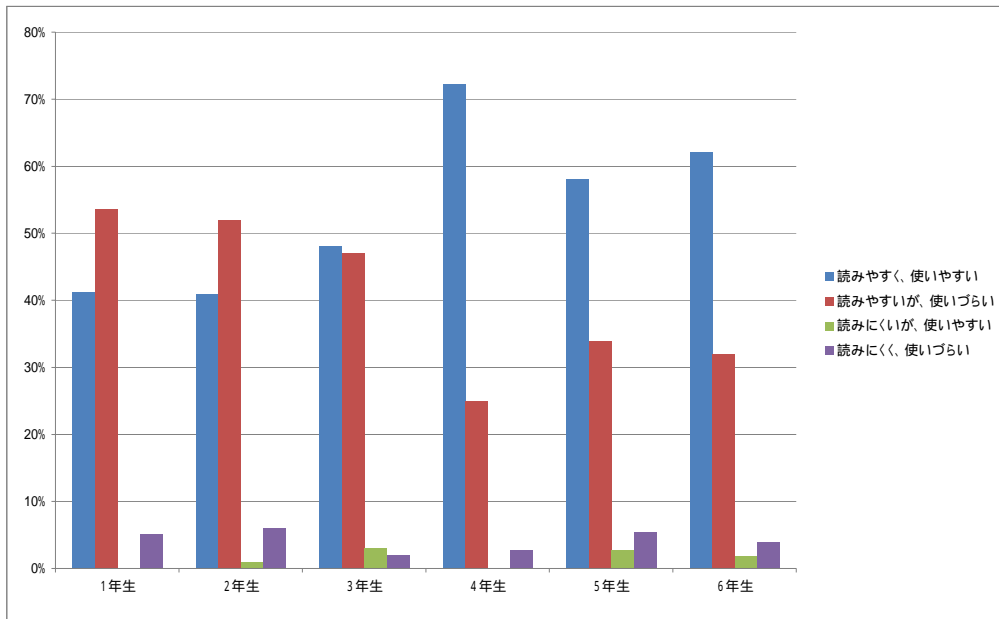
5年生

社会	住みよい暮らしと環境	授業の資料、身近な事例を取り上げて
社会	環境を守る	副教材を読んでレポートにまとめる、地域での身近な問題について考えた
社会	自動車工場をたずねて	調べ学習の資料
社会	自然を生かした暮らし	沖縄との比較に使用
社会	食料生産を支える人々	教科書の発展として
社会	農業・環境	資料として
社会	水産業	森林について
総合	どうするの？道路の動き	調べ学習の資料
総合	環境問題を考えよう	観察・調査の方法、手順のガイダンス、活動の動機付け・調査の方向性を与える
総合	青葉中央公園の自然	公園環境の参考になった
総合	エコレポート	地球の環境問題について調べる
総合	簾舞の森探検	まとめ学習の資料として
理科	エネルギー・リサイクル	資料
国語	人とものつきあいかた	作文を書く資料、授業の資料として

6年生

理科	生き物と環境	教科書と共に読んだ、参考資料として、単元の終わりに読んだ
理科	さまざまな国	国調べの資料として
理科	自然環境	授業直接活用、新聞作りで活用した
理科	ものの燃え方	発展教材として活用
社会	住みよい暮らしと環境	調べ学習の資料
社会	世界の人々とともに生きる	世界の環境問題について
社会	政治と社会	副読本として
総合	地域の環境について考えよう	副教材とネットを使用
総合	マイプラン	追求活動の情報源として
総合	環境	観察・調査の方法を参考にした、教材研究
総合	地球救助隊	具体的事実を知る為の資料
児童会	児童委員	牛乳パック・エコキャップ等

6. 全体的に感じたこと



7. 6. で使いづらい(読みにくい)と感じた理由(主なもの)

低学年においては学力差が大きく、教師にとっては読みやすくて子どもには難しい場合もある。

教科の単元との一致が難しい

子供が活動の参考にする程度でよい

教科書と内容重複・札幌らしさが見えない所がある

内容は良いが、取り上げる時間が無い

メモ、質問が使いづらい

活用のタイミングが良く分からない

本校のカリキュラムに合わなかった

冊子なので、切り取って貼ったりしづらい

内容が多過ぎてポイントを絞り込んでない

授業に取り入れる必要性をあまり感じなかった

写真・グラフを利用。文を短くして欲しい

内容が教科書のように資料としては使いにくかった

すぐ活用できるワークシートなどあればよい

扱っている内容の全てを指導で取り上げる訳ではない。一つのテーマを深く学ぶには、資料として足りない面がある

一年生には生活科であっているが、二年生には適合していない。

三年生には教科の単元に適合していない。四年生に社会には活用できる

生活の副読本・心のノート等と重複する所がある

存在を忘れてしまう

一年生はお話(物語)にして読み物にすべきである。

教科書を超越する内容ではないので、一年生は教科書で十分

7. 特に活用しやすかった項目

1 年生	2 きゅうしょくおいしいね	1 学校たんけんをしよう	6 冬をたのしもう
2 年生	2 きゅうしょくおいしいね	1 学校たんけんをしよう	6 冬をたのしもう
3 年生	21 雪となかよくするために	20 冬の生活	22 いろんな場所にいてみよう!
4 年生	14 ごみのゆくえ	13 ごみを減らそう!	18 きれいな水ができるまで
5 年生	24 地球温暖化	27 森林の減少	1 がっこうたんけんをしよう
6 年生	24 地球温暖化	25 酸性雨	27 森林の減少

【理由(主なもの)】

本校でも取り組んでいる どの学校でも取り組みやすい内容だから
 単元に適合していた。イラスト等が親しみやすく子供が興味を持った
 生活科導入時に絵が豊富でわかりやすかった
 子供が考えて記入する所があるし、絵や図が分かりやすいから
 ごみの分別について具体的に出ている
 冬はなかなか外出しないので、雪に興味を持たせられる内容だった
 施設の情報が授業に役立った
 社会科副読本より詳しく載っている部分も多く参考になった
 カラーイラスト・写真が豊富で見やすいものになっている
 地球温暖化について分かりやく説明してあった。もう少し詳しくしていただけるとうれしい
 34・35 は長期休暇の自由研究のヒントとして
 五年時、国語の学習でぴったりの単元がある
 理科の授業との関連。自校でも環境教育に取り組んでいるので参考になった
 森林の役割を学習しており、関連が深かったから

8. 活用しにくかった項目

1 年生	3 学校のまわりはどんなところ	8 かいものに行こう!	5 生きもののであおう
2 年生	6 冬をたのしもう	9 分けてみよう	8 かいものに行こう!
3 年生	20 冬の生活	21 雪となかよくするために	16 水のじゅんかん
4 年生	22 いろんな場所にいてみよう!	21 雪となかよくするために	20 冬の生活
5 年生	36 いろいろな場所に行ってみよう!	35 やってみよう!	34 調べてみよう!
6 年生	36 いろいろな場所に行ってみよう!	34 調べてみよう!	35 やってみよう!

【理由(主なもの)】

活用しにくい訳ではないが、授業展開上使用しません
 一年生には難しかった。地域的に合わない
 給食については別の冊子があるので
 複雑な家庭事情の子たちがいて、普通の家庭生活でないことに気づき傷つく
 四年生で取り組む内容だから
 酸性ということが良く分からなかった
 身近で利用しているのにエネルギーという意識が薄い
 教科の内容になかなか合わせられない
 文字が多く見えるレイアウトの為
 指導内容に含まれていないから

9. その他意見・要望

1年生

一部しか使えず、大半は中学生向け

絵や図が活用しやすい・地域差がある

内容はよかったが配布のタイミングが悪く、年間計画に入れられなかった

教育課程編成の手引きの関連する副教材の内容を明示すれば使いやすい

使用しないのでこんなに資料を配布されてももったいない

周りに買い物できる場所が無い

プログラム一覧を見ると、学習にも使用できそうなので、是非読んで見たいと思いました。

どの教科にどの単元が活用できるか、検討している時間が無かった。何時どれが来たのか覚えていない

一年生の学習に直接入れるより、生活科で取り上げる方法を考える

食指導等、配布物が多数あるために時間を取ることが出来ない

各学年別になっていると、とても使用しやすい。

活用する事は計画になかった

今年度、話題について聞いた事が無いという子が多かったので活用しなかった。一年間色々な所で話題に上げてきたので、今後使用できそうである。冊子に書かれている事と、自分達の周りの事をようやく比べて見られるようになってきています。

生活科の学習内容と重複するものが多いので、学習の資料にするか、お話(物語)にして読み物にすると良いと思う

2年生

地域の内容と合わなかった。何月にどんな物を配布するのか事前に知らせてもらわないと計画に組み込めない

カリキュラムに合わず一部しか使えません。項目は難しいです

必要と感じる所にのみ配布した方がいい。紙の無駄になる

絵も大きく分かりやすい。給食のマナーについて見やすい表示であった

授業の中で生活科として取り入れるカリキュラムは、前年度から引き継いでいるので新たに取り入れる事は難しい

ブロックごと(1・2年生)になっていると、単年で担任が変わると使いづらい

紛失しないよう保管する事により、活用できる状態になると思う

大きくアピールされたものでなかったので、どのように活用しよいか分からなかった。

プログラムに合う単元が計画されていない

困難を抱えながらも生きる事に懸命で、支援サポートもごく普通の事で当たり前。一人ひとりの生命と能力が真に大切にされているのだよという、具体的活動のメッセージが欲しいのです。

は活用するならと考えてみました。二年生の生活・道徳でどのように時間を確保するかが課題です。

今後も是非児童数で配布して欲しい。平成十六年版の内容がとても使いやすかった。

地域性とマッチしていない

生き物がなかなかいない

配布の時期を社会科の単元にあわせると良い。高学年では総合で活用していたが、早い時期だと保管してままだと忘れてしまった。総合は社会とリンクするので使いやすい。

本校独自のプログラムを使用したため

低学年は、例がそのまま具体的な活動と結びついてしまう傾向がある。それぞれの学校の実態に合ったものでないと使用しづらい

3年生

3・4年生用となっているが、3年生では授業で取り上げる場面が無い。学年で分離するか3年生の学習に合わせる
4年生になってから利用した方が良い内容だと思った
教育課程編成の手引きの関連する副教材の内容を明示すれば使いやすい
中身はさらっと触れましたが、4年生の学習内容とリンクしているので詳しくは扱ってません
内容が4年生のものがほとんどなので、4年生で配布する方が無くす子供が出ずに良い
子供の読み物教材として活用させていただきましたが、時間が無くまた授業の中に構成できず終わってしまいました。
ただ、活用できる内容でしたので担任の扱い方にかかっていると思います。
社会などで関連性がある。4・5年生のみにしてはどうか
全学年一人ひとりに配る必要は無いと思います。図書室や資料室などにニクラス分ほど置いてあれば、2~3年は使
えるように思います。
4年生になってから活用しようと思っています。現在、環境副教材は必要性を感じていません。
利用度が低いので、力を入れて作成しなくてもよいのでは。予算を他にまわして活用して欲しいです。
「地球にやさしくしている？」は現状の資料ならば、4年生の配布だけでよい。
今年度は学年で設定した、総合の題材に合わなかったので活用しませんでした。よって中身は詳しく見てません

4年生

資料としてよく出来ている。社会、理科、総合などで有効活用出来る
年間計画の教材と体験的学習を重視したので活用できなかった
水とごみを両方扱っており、学習時期が違うので一冊だと使いづらい。分けてあると便利
教育課程編成の手引きの関連する副教材の内容を明示すれば使いやすい
三年時に配布されたので、四年時改めて使う事は無かった。四年時の学習に近い物が多いので計画を立てて取り組
ませれば良かった
教科書をやるのでいっぱいでした
副教材として配布したが、時間が足りず授業では使用していない。興味のある児童はじっくり目を通して
存在すら知らなかった
資料室に置いて閲覧できるようにした
環境副教材で何の事を指しているのですか？ごみや消防の本でしたら、たくさん授業で使わせてもらいましたが、
P71~72の環境地図も活用しやすかったです。
4年生でも理解力が不足しているのでは、文章だと時間がかかる。作業しながら理解するページがあると助かります

5年生

高学年の社会、理科、総合との結びつきがあるとより扱いやすくなる
送付していただいたが、あまり活用できず申し訳ない。今後の方法を工夫したい
教育課程編成の手引きの関連する副教材の内容を明示すれば使いやすい
子供達がそれぞれ自分の資料として使いました
総合で活用するのは各学校のカリキュラムもあり難しいと思いますが、家庭・理科・社会・の教科やクラブ活動の
資料としての活用も考えられる
自然環境についての学習は、一学期に集中的に行いました。4・5月に副教材が届いていれば授業で活用できると思
います。
単元とマッチしていない
読書教材としていただけるならうれしいが、授業での活用を期待されるとつらい。
取り入れる余裕が無く配布のみになりました。申し訳ありません

6年生

インターネットで調べられるので、多大な予算を使って作成する意味は薄いと思う。

よいものだと思いますが、時間的に余裕がなかったため

教育課程編成の手引きの関連する副教材の内容を明示すれば使いやすい

自由研究の参考になっていると思うが、学習時間に取り扱う余裕が無い

焦点化された内容で、一冊ずつあればよい

授業に使う余裕が無かった。児童の自主的な活用に委ねた

配るだけで精一杯でした。すみません

取り上げる機会が無い

この単元で使えますという例を多く出して欲しい

時間に余裕が無かったため

内容が大枠だけだという事と時間が取れない

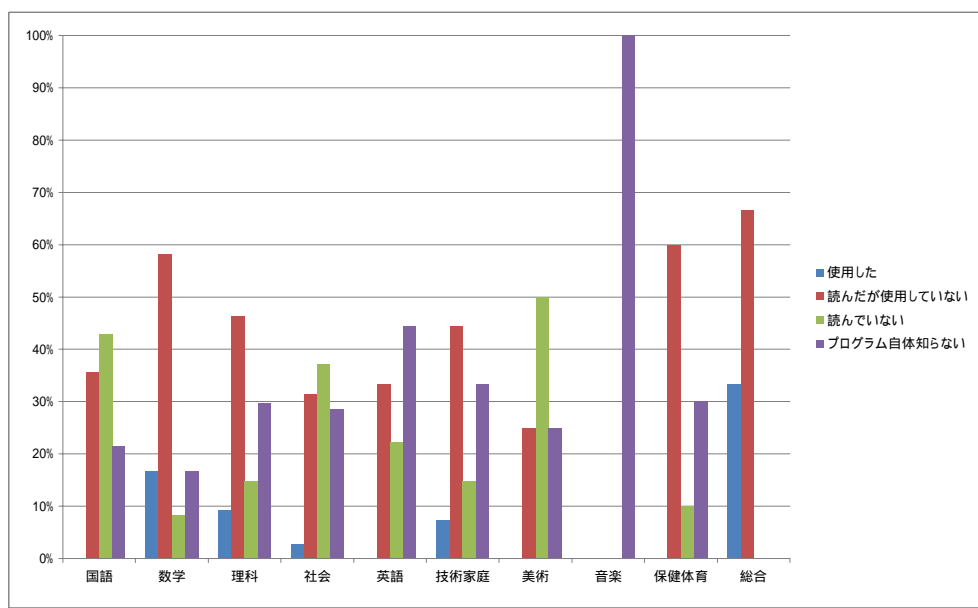
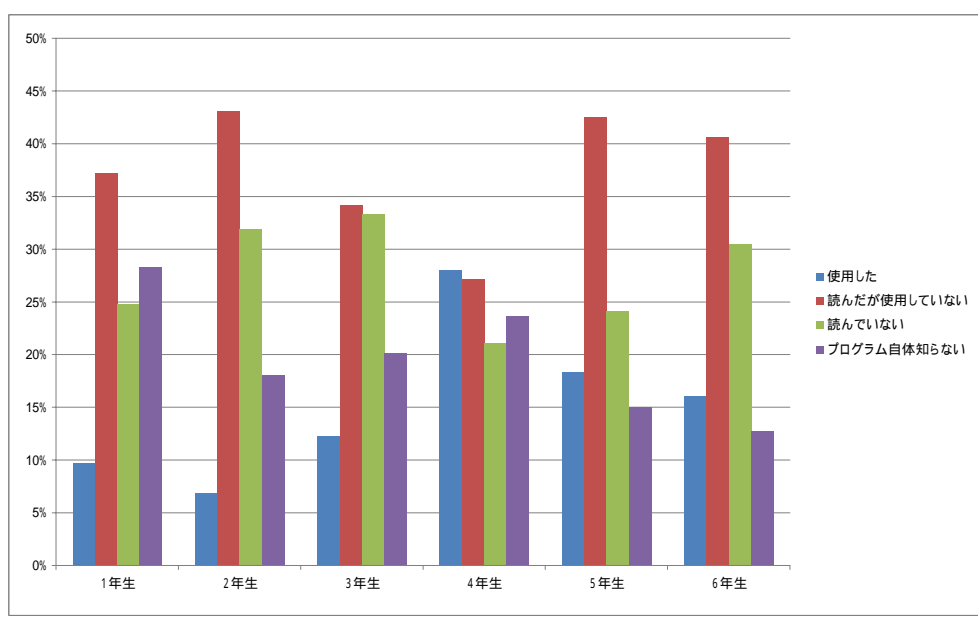
副教材がリニューアルされて使いやすくなった。ワークシートなどHPよりダウンロードして使えるようになればよいのでは。

札幌市環境教育プログラムアンケート 集計結果

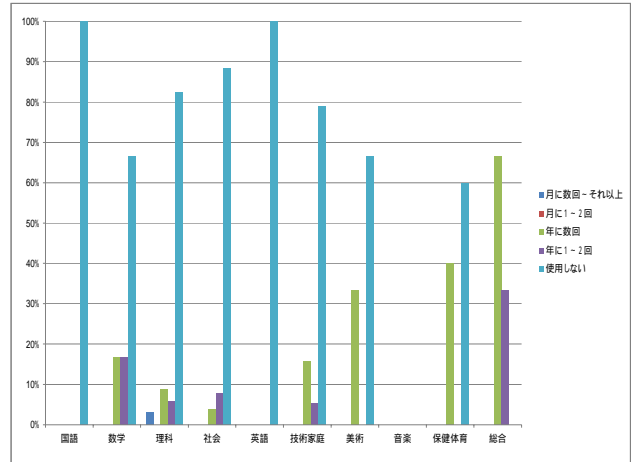
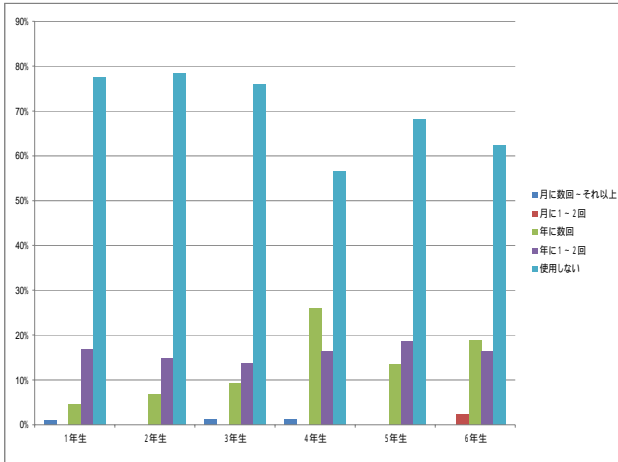
1. 回答数について

(小学生)	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	合計
	115	118	117	121	122	120	713
(中学生)	国語	数学	理科	社会	英語		
	14	12	57	41	9		
	技術家庭	美術	音楽	保健体育	総合		
	28	5	1	10	3		
							合計
							180

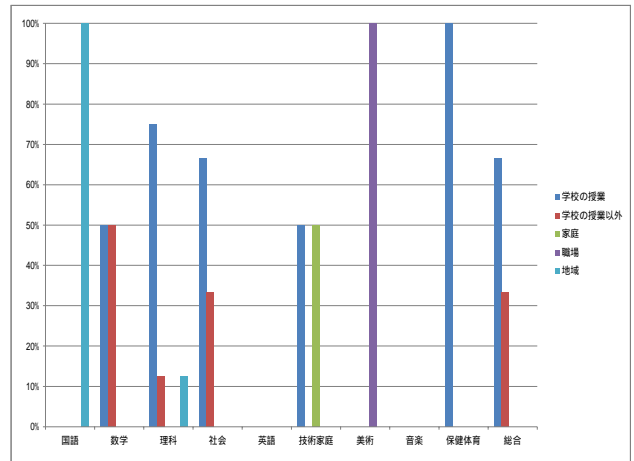
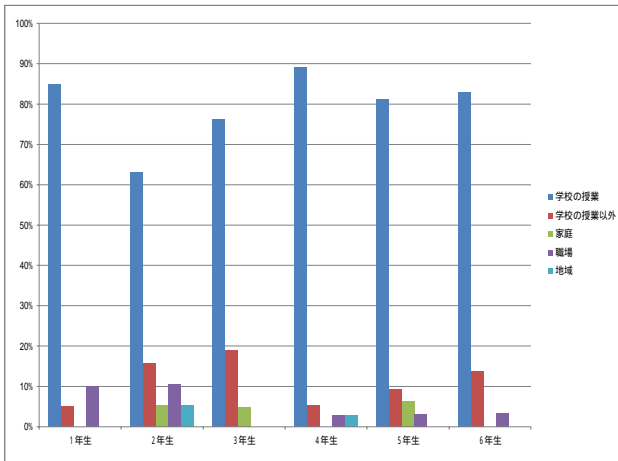
2. 活用率



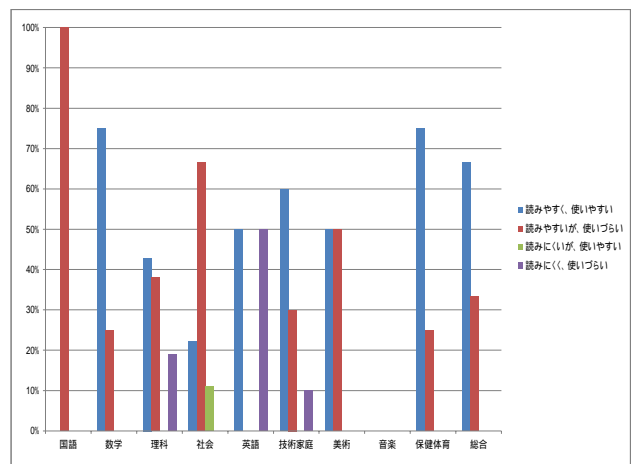
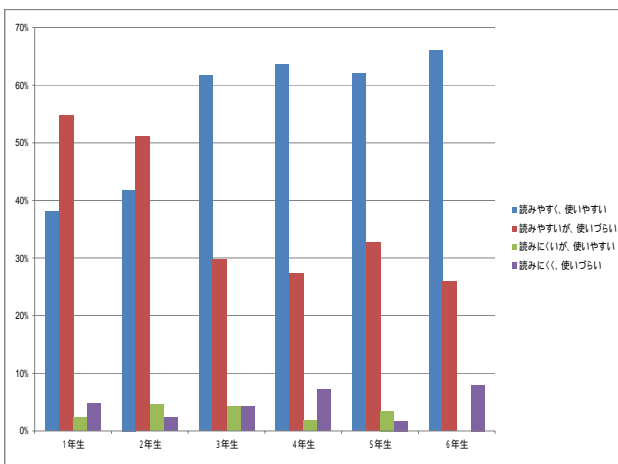
3. 活用頻度



4. 活用方法



5. プログラムについて感じたこと



6.5. で使いづらい(読みにくい)と感じた理由(主なもの)

(小学校)

内容について参考になりました。今年は1年生という事もあり使用の機会がありませんでした
学習内容と合わない
三年生で扱わず、四年生で使用したい
環境問題は日々の生活と結びついており、今教える事が多すぎる
このプログラムを児童に指導する時、どのように計画するか難しいと感じました
教科と連動させて使用できる単元がない
掲載される内容に気づいた時には授業が終わっていた
年間カリキュラムで学習する内容が決まっている
お手伝いが、家族の手間や無駄を増やすのではお手伝いにならないという視点を気づかせることに生かした
資料のHPなどが更に充実しているとなお使いやすい
内容が少し難しいように感じました
学校の地域実態にそぐわない面がある
扱うには量が多く、選別する必要がある
絵や図を入れてもっと見やすくしてほしい
学校全体で出来るプログラム
低学年向けが少ないので活用できなかった
プログラム別ではなくて、ごみ・水など項目別の方が使いやすいです
内容が多く感じるのでポイントを絞った方が使用しやすい
プログラムの種類が少ない
教材研究が不足しています。授業にどのように使うかまだ分かりません
具体的な資料、ワークシートなどすぐ実践に結びつく内容が必要である
資料・統計等に使えるように、もう少し専門的な内容にもふれてもらいたい。

(中学校)

時間的に余裕が無く、活用が無理であるので読んでいない
普段見慣れた指導案でなかったので始めにとまどった
短時間で終わる内容が少ない
小、中、家庭、職場と色分けされているのはいいが、教科毎の括りが分かりにくく、全てが同じようなページ構成の
為探しにくい
内容が大きくて生徒の興味・関心を引きにくい
具体例が少ない
社・理・総・以外のプログラムの充実が必要
系統性が感じられない・単発的である
必修理科との関連が少な過ぎ
カラー写真・図を増やし、視覚に訴える楽しい物にして欲しい
文章が多過ぎる
指導、実施方法が簡略に書かれているので使いにくい
具体性に欠ける。体験型、実験型の実際例が欲しい
ワークシート例などが欲しい
インデックスの工夫が欲しい。探したいプログラムが見つげにくい。環境分野など離して検索できるとよい

7. 特に活用しやすかった項目

(小学校)

1年生	8 ちきゅうにやさしいお手伝い名人	11 牛乳パックリサイクルを考えよう!	1 ごみをへらすために
2年生	8 ちきゅうにやさしいお手伝い名人	11 牛乳パックリサイクルを考えよう!	1 ごみをへらすために
3年生	11 牛乳パックリサイクルを考えよう!	13 目ざせ! エコライフスクール	1 ごみをへらすために
4年生	1 ごみをへらすために	2 水はどこから	4 電流のはたらきと電池
5年生	3 森林を守るために木を使おう!?	5 上昇する札幌の気温	9 地球にやさしい調理実習をしよう
6年生	7 生き物と環境	6 二酸化炭素と酸素	5 上昇する札幌の気温

(中学校)

国語	25 給食用牛乳パックをリサイクルしよう	-	-
数学	-	-	-
理科	18 みどりとふれあう理科学習	17 地球温暖化とエネルギーを考える	16 自分もできるCO ₂ 削減
社会	23 ごみ問題を考えよう	24 札幌の電気を考えよう	25 給食用牛乳パックをリサイクルしよう
英語	-	-	-
技術家庭	20 発電実験を通して省エネを考える	30 省エネ大作戦	31 「食」を通じて環境を考えよう
美術	-	-	-
音楽	-	-	-
保健体育	22 川の中の生き物たち	23 ごみ問題を考えよう	25 給食用牛乳パックをリサイクルしよう
総合	-	-	-

【理由(主なもの)】

(小学校)

わかりやすく児童の実態に合っていました
 身近な題材だった為
 授業の中でそのまま使える(一部であるが)
 児童会で子供への指導の参考にした
 タイムリーで情報収集ができた
 壁新聞作りの資料として活用する事が出来た
 理科の学習内容と関連している
 学校で牛乳パックのリサイクルをしているので、11番は日常から活用できました
 子供が考えやすい
 牛乳パックリサイクルと環境委員会を推し進めている為
 数値が新しい
 学校の教科外の指導や取り組みに連動している
 低学年でも利用しやすい
 水の使われ方が分かりやすい
 補助資料としても良い・札幌ベースの教材で身近である
 具体的な数字やグラフがあって使い易かった
 教科や日常生活との関わりがある
 授業で使える、1人1人カラー版の資料というのが良い・言葉も子供用で簡単
 実践例が分かりやすい
 エコライフレポート作成時に使用。取り組みの背景を伝えやすかった

(中学校)

- 総合的な学習時間のテーマと合致していた
- 比較の見やすい感じで良かった
- 生徒会の取り組み活動にリンクしているから
- 指導内容に合わせて使いやすい
- 以前から取り組んでいたので実践できた
- 宝探しカードの発想がユニークで生徒へアプローチしやすい
- 総合的な学習で、ごみ問題をやろうと思っていたから
- サミットの主要議題だったので
- HP 等で活用しやすい
- 生徒の興味、関心を引く内容です
- 資料を提示し、理解させたいポイントに導きやすい
- 地理的に生徒が実践しやすい。実際に体感でき行動に移しやすい

8. 活用しにくかった項目

(小学校)

1年生	-	-	-
2年生	9 地球にやさしい調理実習をしよう	10 チャレンジ！ウォームビズ	-
3年生	-	-	-
4年生	9 地球にやさしい調理実習をしよう	12 発信！児童委員会から全校生徒へ！	-
5年生	13 目ざせ！エコライフスクール	10 チャレンジ！ウォームビズ	12 発信！児童委員会から全校生徒へ！
6年生	12 発信！児童委員会から全校生徒へ！	13 目ざせ！エコライフスクール	11

(中学校)

理科	19 樹木の吸収するCO2の量を求めよう	21 札幌の水質について考えよう	29 エコサミット in Sapporo!
----	----------------------	------------------	-----------------------

中学校、他の科目は2票以上の回答なし

【理由(主なもの)】

(小学校)

- 総合のカリキュラムにないから
- 自由研究の参考になっていると思うが、学習時間に取り扱う余裕はない
- 言葉が難しい
- あまり環境に馴染まなかったようで
- 内容が四年生には少し難しかったと思います
- 他は高学年向き
- 機材が必要となる
- 本校のリサイクル活動と結びつけるのが難しかった
- 児童の興味、関心と距離があった

(中学校)

- WEB 版環境家計簿等、記録を必要とするものであるから
- 技・家の教科書や副教材と内容が重複している
- 単元時期と季節が合わない
- 数学的で取り組むのが困難な生徒がいるのでは？
- 中学校の授業での取り組みを考えると、用具なし・外へ出づらい・規模が大き過ぎるなどの点あり

9. その他意見・要望

(小学校)

本校の総合のカリキュラムとプログラムの内容が合っていた
冊子は、私たちには参考になります。これから授業のまとめに使いたいと思います
内容が高度過ぎて低学年向きでない
より教科と関連させて学習しやすい単元を増やして欲しいです
個人に配布されていない事・三年生で活用できそうな物が見当たらない
どのプログラムも、環境教育を進める上で大切かと思えます。指導する側の意識を高めて、上手に活用したい
生活科では本校のカリキュラムがあった為、そちらで進めた
特に使用する良さを感じなかった
教科書の事を教えるのでいっぱいです
校種別にして欲しい・教科との関連が薄い
教材研究の時間が無かった
環境教育に取り組む時間が無い(六年の総合の年間カリキュラムに入っていない)
時間に余裕がなく、うまく単元に組み入れられなかった為
後で読みました。社会や総合の時間に大いに活用できそうでしたので、次年度からは活用したい
子供向けの環境に関する資料が手に入ったので、主にそちらを活用しました
総合にこだわらず、関連する各教科やクラブ活動での利用も考えられる
特に必要を感じない
記憶にありません
社会科・理科・総合・特活とのリンクを蜜にしていきたいので、今後も冊子や手引きに参照マークなど書いていただ
きたい
環境カリキュラムに位置づける事が出来なかったから
配布されたが、このような使い方が出来る事を知らなかった。目を通す程度でした
もっとプログラムがあるとうれしいです
よく知りませんでした
単元が合致すれば使いやすいと思う
本校独自のプログラムを使用した
利用の仕方やその効果、利用する事による子供の変化・備わる力を分かりやすく知らせて欲しい
今回プログラムの内容を知る事ができたので、次回は授業の中で生かしていきたい
プログラム活用は年度初めに決定する事もあるが、この時期に文書等が来ても超多忙な為後回しにされる事が多い。
長期休業前に通知するなど、教員の研修に役立てられる時期に周知されると活用に向けて検討できる。
内容をよく読んでいなかった為、活用する機会を設けられなかった
総合で使いたかったのですが、あまり使える内容がありませんでした。教科発展型でないほうがよいと思う

(中学校)

使用する時間がない
授業における単元との関係でイメージしづらかった
生徒の実態によっては分かりづらい事もあるので、もう少し内容が簡易なものと良いと感じました
総合的な学習でさえ使い方、取り組み方がままならない状態で次々に要求されても対応できない
まだ十分に活用出来ていないので、来年度のカリキュラムに組み込んでいきたい
必修科目(理科)の中では時間が足りなかった
国語教材と直接結びつく資料が無かったから
他教科、学年にもアンケートを回覧しましたが、具体的な取り組みがなされていない

温暖化とCO2の関係が科学的に解明されていない段階で、初等教育に持ち込むのは危険。原発、リサイクル、省エネについてもっと良い資料を持っている

そのようなプログラムがあることを知りませんでした

意識、啓発は一朝一夕で出来るものではなく、長く続ける事で行われるものなので性急に結果を求めない方が良いと考えた

どこで情報を得られるのか知りません

独自に取り組んでいる

歴史と環境教育とつながりにくく、年間の計画を消化するのに精一杯である

一冊にまとまっていて使いやすいそうではあるが、領域ごとに分かれている方が使いやすいと思います

環境問題については、二年生の保健の授業で独自の教材を使用した

本体とは別に、教科ごとに分冊し担当者に配布する事で、プログラムの存在が周知されるのではないかと

リサイクルやエネルギー問題は授業で取り扱っているが、このプログラムは使用しづらかった

「環境プロ」に良い資料が掲載されているが、その資料を活用した指導計画や指導案を作成するゆとりが無いため

このような実践や準備を、多くの方が知る所になるような取り組みをしてください

活用実績・実践例をご紹介いただけると、更に取り組みやすいと思います

『札幌市環境教育プログラム』授業研究における成果と課題

— 「ごみの減量を考える～ごみ有料化」の実践（2/27 平岡公園小）を通して—

平成21年3月24日（火） 札幌市教育委員会 指導室

1 取組のねらい

「札幌市環境教育プログラム」におけるプログラム「ごみをへらすために」【小学校4年生、教科内（社会科）でのプログラム】を基にした授業実践を通して、よりよい指導の在り方や効果的なプログラムの活用について探る。

2 授業の実際

(1) 本時のねらい

札幌市がごみを一部有料化することや、ごみの分別が変更になることを通して、自分たちの生活から出るごみを減らそうと考え、環境を守ることが重要であることが分かる。

(2) 本時の展開

- ① 札幌市のごみ有料化、ごみの分別の変更について知らせる。
- ② 「なぜ、札幌市はごみの分別をかえるのか」について考える。
- ③ ゴミ減量化、リサイクル等ごみの資源化、処理費用などの視点から考える。
- ④ 平成21年度のごみ処理費用が平成20年度より34億円増えることを知らせる。
- ⑤ ごみ減量や埋め立て地確保、費用の削減などの必要性について考える。

3 成果と課題

- 「プログラム」で取り扱っていない新たな事象「ごみ有料化」について実践し、子どもの見方や考え方と指導方法などについて検証できたのはよかった。
- ごみ、ごみ指定袋などの具体物の提示、ごみ指定袋の値段、ごみ処理費用などの資料提示によって、ごみ処理の工夫について具体的に考えることができた。
- ごみ有料化、ごみ分別の変更、ごみ処理費用の増加という事実について、札幌市の廃棄物処理の視点ではなく、市民の視点からも考えるようにするとよかった。
- ごみの有料化により、ごみ分別・収集が強化されること、ひいては「健康な生活の維持と向上に役立っていること」という役割や意味に気付かせるようになった。

4 今後に向けて

- * ごみ有料化は平成21年7月、札幌市教育課程編成の手引では10月実施なので、本実践から知り得たことを生かし、ホームページなどで取組例を紹介する。
- * 他の「プログラム」についても、授業研究や学校からの意見を基に、資料提示や体験的な活動の設定など指導の在り方について、よりよい取組を探っていく。
- * 日々変化している環境を取り巻く状況、具体的事実・事態などを踏まえ、環境教育の取組について、今後も学校に情報を提供する。